

核構造データ・サブワーキング・グループ会合議事録

日 時 昭和 56 年 11 月 12 日 (木) 13:30 ~ 17:30
11 月 13 日 (金) 9:30 ~ 17:00
場 所 原研東海研究所 研究 2 棟 408, 222 室
出席者 喜多尾(放医研), 神戸(東工大), 瀬尾(京大炉),
田村, 松本(原研)

議 題

1. A = 122 核構造データ評価の分担

評価の分担を核種およびデータの種類により以下のように分ける。

Ag, Cd, In, Sn	……	喜多尾
Sb の (n, γ), EC 崩壊, (p, n γ), (inbeam, γ)	……	松 本
Sb の β 崩壊と (d, p) などの γ を含まぬ反応	……	瀬 尾
Te, I, Xe, Cs, Ba	……	神 戸

2. Ag, Cd, In, Sn の文献調査結果(喜多尾)

- (1) Ag については Adopted levels のみを作る。基底状態の寿命に 1.5 秒, 0.48 秒がある。
- (2) Cd については Adopted levels と Ag の β 崩壊データ・セットを作る。
- (3) In については, 反応データ (t, ^3He) があり, これと Adopted levels を作る。
- (4) Sn については 1^+ ; $3, 4, 5^+$; 8^- と 3 つの In アイソマーからの β 崩壊が報告されている。主な文献は U(n, f) から線源を作った 79FO10 と, U(p, f), ^{124}Sn (d, α) から線源を作った 79CH10 がある。後者の方が信頼度が高そうであるので, これを主体にデータを検討する。

3. Te, I, Xe, Cs, Ba の文献調査結果(神戸)

- (1) Ba については, $^{74}\text{CO}36$ の in beam のデータを採用する。崩壊に関

しては寿命位しかデータがない。

- (2) Cs については反応データなく、基底状態の寿命くらいしかデータがない。
- (3) Xe についてはCsからのEC崩壊(77Ge 03)と in beam のデータを調べた。
- (4) I についてはXeからのEC崩壊(73LO10)およびIT崩壊がある。また、基底状態からTeへのEC崩壊(77Re ZK)は、文献が手に入らないが興味がある。
- (5) Te については崩壊データ、(p, t), クーロン励起, in beamなど多くのデータがある。

4. 今後の方針

次回会合を12月中旬に持つことにし、それまでに松本、瀬尾は担当部分の文献調査を、喜多尾、神戸はファイル作成作業にかかる。

5. その他

A = 128 の ENSDF ファイルをBNL 核データ・センターに送付したことについて松本から報告がなされた。